

● 中国支部

6月9日、第41回中国支部総会および懇親会が岡山市の「ホテルグランヴィア岡山」で開催されました。

中国支部

恒例の前日観光は、日本三名園と讃えられる「岡山後楽園」と令和の大改修を経て間もない「岡山城」です。ホテ



間科学部教授趙慶姫先生、同菅野幸恵先生、安西彰子同窓会副会長、浦田宏校友会広島県支部長、藤田尚徳校友会岡山県支部顧問をお迎えして同窓生39名が集いました。

1部総会は福岡裕美子さん(50E)の司会で始まり、来賓のご挨拶をいただき、活動報告、決算報告、新役員紹介等で閉会しました。

2部懇親会では、趙先生に「ジェンダー研究センター



の社会貢献事業―生涯教育の取り組み―という演題でご講演いただきました。ジェンダー研究センターの三つの柱―研究・教育・社会貢献―特に生涯教育は女性ばかりでなく児童から社会人まで全ての人が一生涯続ける、具体的な活動内容も話されました。

後、岡山大学歯学部に再入学し陸上競技部で活躍している石鍋颯一さんが出席され、陸上部の窮状を訴えられました。同窓生から集めた募金を磯部厚子支部長よりお渡しし、大変感謝されました。

来年は広島県での開催ですとご挨拶があり、カレッジソングを歌い閉会となりました。

総会は青山学院大学コミュニティ人

● 四国支部

四国梅雨入り宣言の6月9日高松駅前の「ホテルクレメント高松」にて第31回四国支部総会が開催されました。

雨の中30名の会員と、ご来賓として青山学院大学コミュニティ人間科学部准教授小林瑞乃先生、同輪島達郎先生、依田静江同窓会会長をお迎えいたしました。

大場容子さん(38J)の礼拝から始まりました総会も、つつがなく議事が進み無事終えて、小林先生に「青短とシスターフッド」の演題でご講演いただきました。

歴代の短大校長は女子学生に最先端の教育をと、最高の教師陣、環境を整えてくださり、短くとも篤い教育は、知的訓練と愛と奉仕の精神を育む場所でありました。生涯にわたりなされるところの教養主義教育で、学問を尊重する精神を持ち心の深い人になってほしいと望んでいたことを改めてご教示くださいました。

また短大より継承の、男女共生を目指すジェンダー研究センターのプロジェクトの一環として毎年行っている卒業生への聞き取り調査の年別別項目別成果もまとめられて、既出版もされており、今後も順次刊行されることでした。

その内容はとても興味深いもので、聴いている内に皆の脳内記憶の固い扉が開かれていくのです。同窓会なら

では”の不思議な感覚かもしれません。続いて懇親会に移り、先生方には大移籍後の学校の様子や、依田会長には同窓会のこれからについてなどお話をいただきました。

おいしいフランス料理をいただきながらも周りの席の方々の思い出話合戦もはずみ、たちまちの内にお開きの時間となりました。

四国支部は4県持ち回りの丁度良い関係が続いております。来年は徳島県で開催されます。この貴重な同窓会の輪が、いつまでも続くことを願ってやみません。

45H 山上明子(中川)

